

安全指導だより

世田谷区立上祖師谷中学校

令和2年9月14日

第2号

先日、台風10号が発生したときに、気象庁から「最大級の警戒が必要」と発表されました。皆さんは、どのような行動をすればよいか想像できましたか？9、10月は台風がよく発生すると言われています。様々な災害を想定し、身を守る力を身に付けてほしいと思います。

～こんな時どうする？～

先日のアンケートより

【急激な豪雨が発生したら、どこに避難する？】

- 高いところにある頑丈な建物。
- 地域の避難場所に指定されている場所。
- 学校、区民センター、コンビニ、自宅。



雷や急な風の変化、周囲が突然暗くなるなど、積乱雲が近づく兆しがある場合は、ビルなどの2階以上の頑丈な建物へ。より安全な場所に避難しよう。

【どんな手助けができますか？】

- 避難場所を伝え、一緒に避難する。
- お互いに情報共有をする。
- 児童や高齢者などを優先的に考える。

自分や家族だけが助かれればいいということではなく、周りの人と協力し、1人でも多くの人を助ける「共助」で被害を軽減しよう。

【ご近所の輪を広げるためには、どんなことができますか？】

- 元気な挨拶を心がけ、日ごろからコミュニケーションを図る。
- 地域のボランティアや避難訓練に積極的に参加する。
- 困っていたら、声かけをする。



コミュニケーションという備えが重要です。日頃からあいさつを交わしたり、町内会主催の防火防災訓練などに参加することで、ご近所との輪を広げよう。

最大瞬間風速！

「最大瞬間風速〇〇メートルです。」、ニュースでよく耳にする言葉です。最大瞬間風速(秒速)40メートルでは、看板が飛び、走行中のトラックが横転します。60メートルでは、時速に換算すると、216キロ。驚くことに新幹線の速度に匹敵します。倒壊する建物も出てきます。80メートルでは、時速に換算すると、288キロにもなります。暴風が吹くと、傘も、窓ガラスを突き破るような凶器となります。

「備えあれば憂いなし」

大雨や台風は、地震災害のように突然襲ってくるものではなく、いつ、どこで、どのくらいの規模のものがやってくるかなど、ある程度予測することができます。対策は、風が吹き始めてからでは危険です。台風が近づく前に各家庭で、以下のことを確認してみてください。

- ・非常用持ち出し袋の場所と中身のチェック。
- ・ハザードマップによる危険場所のチェック。
- ・家族に連絡が取れない時の対応方法の確認。
- ・一時集合場所や避難場所を話し合う(地震や洪水など、災害種別によって場所が変わることがあります)。



今年度は、台風接近・通過時や大雪におけるガイドラインが変更となっています。登校前に発令された場合は、午前6時までに暴風警報が解除されない場合、臨時休校となります。各家庭で登録されている、緊急メールと学校HPにて掲載させていただきます。



住民同士の協力

挨拶をする。困っていたら、声かけ助けてあげる。近くで行われているイベントに自主的に参加する。地域での掃除を行う。地域のボランティア活動などに参加する。防災訓練に参加する。

どのような場所に避難

高いところにある頑丈な建物。地域の避難場所に指定されている場所、学校、区民センター、コンビニ、大人がいる場所、

手助け

一緒に避難する。避難場所を伝える、呼びかける。児童や年配の人を優先的に考える。お互いに情報共有する

